

12月13日に総務文教委員会を開催し、所管する事務事業の調査を次のとおり行いました。

● 議会報告会での意見について ●

～内容～

平成25年11月5日に市内4箇所で開催した議会報告会の席で市民からいただいた意見のうち、美術館についての調査を行った。

～会場での意見～

- ◆ 美術館の問題を気にしている。美術館がないのは総社だけ。県立博物館の誘致も進んでいない。非常にさみしい思いをしている。教育にも美術館は大きな役割がある。市立の美術館ができないか。少しでも前へ進んでほしい。期待している。
- ◆ 美術館博物館構想を新聞で知った。2019年と書いていたが、厳しい財政状況で本当か。市民の寄附等の考えもあるのでは。

～会場での意見に対する回答～

総社市美術館博物館の早期実現に向けて執行部にも強く求めていき、議会側としても実現するよう努力をまいります。

～質疑～

問：以前から話がある県立博物館の誘致について動きが気になるがどのような状況か。また、美術館建設に向けて、基金の積立については考えられないか。

答：県立博物館はあくまで県の博物館であり、仮に総社近辺に建てられ総社に関係する部分の展示も多少はあるにしても、岡山県全体の博物館ということであれば、総社市が求める博物館であるかということが非常に懸念される。今の段階では、総社市に合った、総社市らしい、総社市のための美術館、博物館を目指していくべきではないかと、議会の議決を重く受けとめている。

基金については財政当局とも相談をしていかなければならない。市長が一般質問でお答えしたとおり、市民の寄附あるいは市民債というような方法もある。

問：九州にも何年か前に国立博物館ができた。出雲文化、あるいは大和文化の間の吉備文化であるので、とんでもない考え方だが、例えば国立博物館を吉備路のあたりをお願いしてはどうか。青森の三内丸山（さんだいまるやま）遺跡に負けない鬼ノ城がある。そういうふうなおもしろいことも少しは考え、頭をやわらかくしてはどうか。

答：今後、国がどういうところへ国立博物館を将来的に考えているのか、そういうことも情報収集は行っていきたい。

問：市民債というのはいい制度だと思う。全てを公費でしようというのではなくて、市民債というのを研究していただきたい。

答：市民債は市民から借りる借金であり、手続は特に複雑ではない。

●総社市スポーツセンターきびじアリーナ現地視察での 維持管理に関する指摘事項と対処結果について●

～内容～

平成 25 年 5 月 21 日に総務文教委員がきびじアリーナの維持管理、清掃状況についての視察を行った際に指摘事項があり、その後の対処結果について報告を受けた。